

〔問 17〕 赤い色は子どもの視覚に一番よく訴える色と聞きますが、赤文字の漢字カードを見せると効果的なのでしょうか。たとえば暗誦用の長い文章は赤だと集中しにくいように思われるのですが。

〔答〕 赤は全体のなかで抜きん出て見えますので、たくさんの文字のなかに赤い文字があると目立ちます。私が主幹として作成した「学習漢字図解辞典」(三省堂刊)でも、重要なところは赤い文字で表記してあります。そこだけが印象的に浮かび上がってくるからです。ドーマン博士も、子供に教える最初の十枚のカードは赤い文字で表わしています。ただ幼稚園で使う漢字カードの類は、ことさら赤くする必要はないと思います。

〔問 18〕 クラスにどもりの子供がいるのですが、そのような子に対する特別な指導というものはあるのでしょうか。早いうちに直してあげたいのですが、漢字教育や暗誦で直せるでしょうか。

〔答〕 どもりの子に対しても漢字教育や暗誦は効果があります。どもりにもいろいろな原因があると思うのですが、まずその原因究明が大切です。原因が肉体的(たとえば発声器官に異常がある)なものでない場合 たとえば、せっかちにしゃべるうちにどもりになってしまったとか、どもりの真似をしていて本当にどもりになってしまったなど、ある程度、どもっている状態を続けているうちに習慣化してしまうケースが多いのですから、ゆっくりと一定のリズムで読むという反復練習をすれば、どもらなくなると思います。ただ幼稚園だけでなく、家庭でも母親がゆっくりと会話をするというようなことも必要なのです。